

学力向上グングン塾便り

令和5年3月
NO. 11
稚内市教育研究所

保護者アンケート ご協力ありがとうございました

3学期は、荒天やスキー授業の予定変更等のため残念ながら実施できない日もありましたが、少ない中でも子どもたちは、苦手の克服や基礎基本の習得に頑張っていました。

さて、今号では2月の保護者アンケートの結果と寄せていただいた声を一部紹介します。

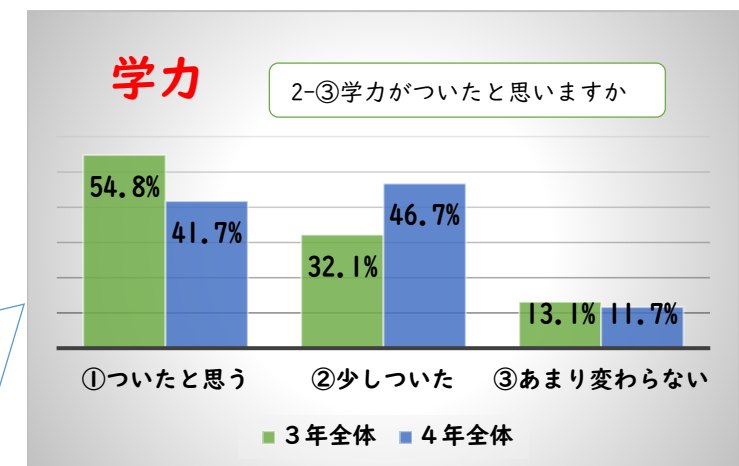
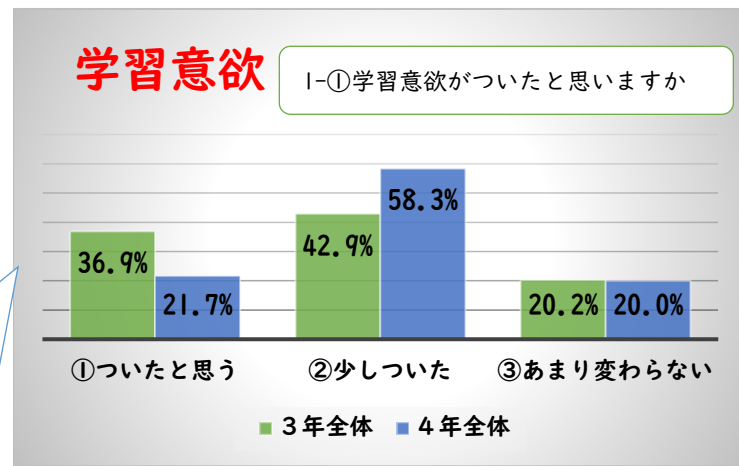
皆様から頂いたご意見は、来年のグングン塾の運営改善に生かしていきたいと思っております。

	3年		4年	
	2月	10月	2月	10月
「学習意欲」 ついた 少しついた	36.9% 42.9%	46.2% 44.0%	21.7% 58.3%	25.8% 43.9%
「学習習慣」 ついた 少しついた	31.0% 35.7%	31.9% 38.5%	23.3% 35.0%	16.7% 39.4%
「学力」 ついた 少しついた	54.8% 32.1%	52.7% 39.6%	41.7% 46.7%	53.0% 42.4%
話し合ったり助言した よくあった 時々あった	8.3% 52.4%	9.9% 48.4%	10.0% 40.0%	9.1% 48.5%

☆「学力」がついた・少しついたと感じて下さっている保護者が、3年生で約87%、4年生で88%と高い数値を示していて、グングン塾が目指している、基礎基本の定着による「学力の向上」は少なからず図られたと感じています。



- 毎日の勉強を「面倒くさい」と言わなくなった。
- 算数、漢字検定を自分から受けて進んでやるようになった。
- 冬休みにグングンが楽しみと言っていたので、意欲はついていると思う。
- グングン塾に参加してわからないところが解消し、少しは楽しんでやるようになってきていると思う。
- 家では宿題となるとどうしてももめてしまうので、グングン塾で先生や友達と楽しんで学習できたようだ。
- 漢字は好きになり、自分で調べて学習している。
- 家では宿題+自主学習をしていますが、ただの流れ作業のようにする日もあり、学習する=自分にとって大切とはなっていないような時が多いので、まだ意欲は低めです。



- 本をほとんど読まないの、文章問題の理解が悪かったのがすごく目立っていました。この2~3ヶ月は文章問題が読み解けるようになってきたと思います。
- 授業でわからなかったことを、くり返し復習することでできるようになり、自信がついたと思います。
- 勉強が嫌いなため、楽しんで意欲的な学習とはいえませんが、「学力」はやった分、ついていると思う。
- 漢字をていねいに書くようになりました。
- テストの結果を見ると、学力もそんなに変わったと思わないが、わからない問題は、まず自分で調べることが多く見えた。
- いっときマス計算がとても速くなったのですが、冬休みに家でやると間違いだらけでスピードも落ちていて、やはり続けなくてできなくなるんだと思います。

「ご意見・ご要望」について～グングン塾での指導に関する感謝や激励のメッセージをたくさんいただきました。ありがとうございました。

【要望】「冬の帰宅時間が遅いので、短縮日課の日に日程を変えて欲しい。」

・「○曜日は3国語、●曜日は3算数、△曜日は4年」というように、曜日と学年・教科を定めて入塾者を募集しているため、年度途中で実施日を変える事ができません。冬期期間は日没が早いので、6時間授業の場合、10月中旬から2月初旬までは30分、2月初旬から下旬は45分の短縮時間で実施しています。

【要望】「日程を早めに知りたい(何曜日の何時から)。」

・実施曜日は1年間通して同じ曜日、開始時刻は帰りの会終了10分後と定めていますので、これが一つの目安になります。その上で、毎月のグングン実施日程は、学校の月予定が決まり、行事が入っていないか、何時間授業か、短縮日課か通常日課かが分かってから決定します。ですから、これ以上早めるには難しいところですが、学校の予定が分かり次第、計画を作成して、少しでも早くお知らせできるように努めます。

【要望】「漢字や筆算などにミスが多いので、力を入れて欲しい。漢字検定を受けようと思うような環境を作ってほしい。作文練習をして欲しい。」など

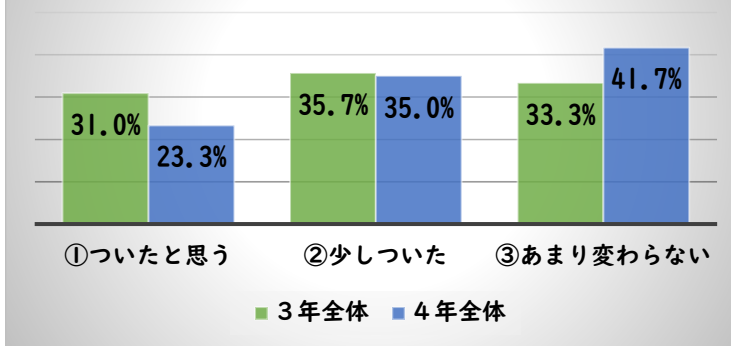
・稚内の子供たちは、「文章を読んでその内容を理解し、解釈すること(読解)」を苦手としています。文章を読むことは全ての教科の土台で、読めないことが勉強嫌いや苦手意識につながるため、グングン塾では「読解問題」や「言葉や言葉のきまり」の学習に重点をおいて、1年間継続して取り組んでいます。このようなことから、漢字の学習は行っていましたが、時間を十分に取ってはいませんでした。しかし、漢字を苦手としている子も多いですから、次年度に向けて継続的な取組を検討したいと思います。尚、3年生の漢字200字、4年生202字の定着・習熟を図るには、年二十数回のグングン塾では不十分なのは言うまでもありません。毎日の練習が欠かせませんので、家庭学習でも取り組めると良いと思います。

【要望】「グングン塾の学習を早く終わったら、(学校の)宿題をやらせて欲しい」

・「授業の復習・学習したことの定着を図る」とことや「家庭に於ける学習習慣の確立」という目的で、学校は宿題を出していると考えますので、グングン塾の時間に宿題をすることは認めていません。また、グングン塾では、全員共通の課題プリントをやり終えると、個々の学習状況に応じて、基本問題や応用問題を選択して取り組めるようにしています。更に、タブレットドリルで様々な問題にチャレンジできるようにしています。そのため、グングン塾の時間はグングンの学習に取り組む事になります。

学習習慣

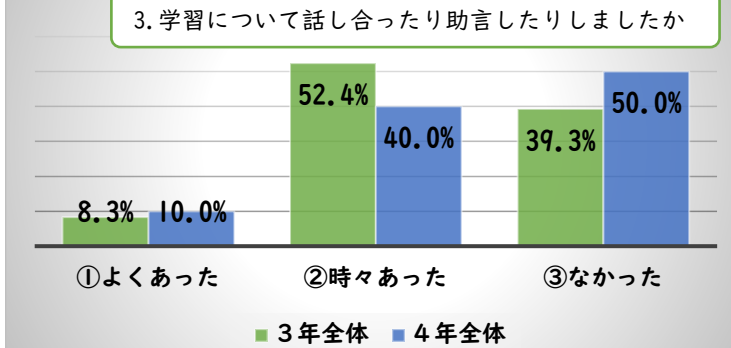
2-②学習習慣がついたと思いますか



- 自ら目標を立てて実行することができるようになった。何ページやると決めて必ず実行していた。
- テストがある時は、テストのために進んで勉強できるようになりました。
- 家庭での学習時に、すぐ答えを聞かずに、ひとりで取り組むようになりました。
- 帰宅後、言われなくても自分から宿題をすることは習慣化されています。最近、友達とオンラインでゲームをやる約束の日があり、ちょっと習慣が不安定になる日もあるので、家でのルールの確認をしようと思います。
- 家では宿題以外の勉強は全くしません。上の学年になると勉強も難しくなるので復習もやってほしいです。
- 勉強<遊びといった感じで、さんざんTVを見たりしてから嫌々始めるのがほとんどでした。

話し合ったり、助言したり

3. 学習について話し合ったり助言したりしましたか



- プリントを見せてくれて、「こんなにやったんだよ～」とか「こんだけできるようになった。」と自分からときどき話してきました。
- 「今日のグングンは楽しかった、かけ算のタイムが速くなった。」など、感想や自分で達成感を得た時に、うれしそうに報告してくれました。
- もともと話すことが少ない子なのですが、九九の新記録を出した時はうれしかったようで話してくれました。
- 「夏・冬休みのグングン行きたくない。勉強したくない。みんな行かない。」と言っていたが、話し合っ、家にもゲームばかりしてるだけだし、久しぶりに友達に会えるよと言って行かせました。結果、楽しかったと毎日帰ってきました。
- やる気が出ないことが多く、多分頑張っているとは思いますが、それまでが大変でした。先生にはご迷惑をおかけして、申し訳ない気持ちでいっぱいです。